

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成30年1月18日 (2018.1.18)

【公表番号】特表2016-539477(P2016-539477A)
 【公表日】平成28年12月15日 (2016.12.15)
 【年通号数】公開・登録公報2016-068
 【出願番号】特願2016-536244(P2016-536244)
 【国際特許分類】

H 0 5 B 37/02 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 B 37/02 J

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月29日 (2017.11.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発光ダイオード回路と、
前記発光ダイオード回路の調光動作を改善するためのブリーダ回路であって、
電流の振幅の値を検出するための検出回路、及び
ブリーダ電流を導入するための導入回路であって、前記ブリーダ電流の振幅の値が、
前記検出回路からの検出結果に応じて規定される導入回路を含むブリーダ回路と、
饋電電流を供給するための変換器とを有する装置であって、前記検出回路が、前記変換
器によって供給される前記饋電電流を検出するよう構成され、前記饋電電流が、前記発光
ダイオード回路の少なくとも一部を流れるよう構成され、前記ブリーダ回路と、前記発光
ダイオード回路とが、熱的に結合されている装置。

【請求項 2】

前記饋電電流の前記振幅の相対的に大きい値は、前記ブリーダ電流の前記振幅の相対的に小さい値をもたらし、前記饋電電流の前記振幅の相対的に小さい値は、前記ブリーダ電流の前記振幅の相対的に大きい値をもたらす請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記検出回路が、第 1 抵抗器回路を有し、前記導入回路が、第 1 トランジスタ回路を有する請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記第 1 トランジスタ回路が、単一のトランジスタを有する、又はダーリントン構成の 2 つのトランジスタを有する請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】

前記検出回路が、前記第 1 トランジスタ回路を前記第 1 抵抗器回路に結合するための第 2 抵抗器回路を更に有し、前記第 2 抵抗器回路が、前記第 1 トランジスタ回路の第 1 主電極に結合される請求項 3 に記載の装置。

【請求項 6】

前記検出回路が、前記第 1 トランジスタ回路を制御するための演算増幅器を更に有する請求項 5 に記載の装置。

【請求項 7】

前記検出回路が、前記第 1 トランジスタ回路を制御するための第 2 トランジスタ回路を

更に有する請求項 5 に記載の装置。

【請求項 8】

前記第 2 トランジスタ回路が、単一のトランジスタを有する請求項 7 に記載の装置。

【請求項 9】

前記第 2 トランジスタ回路が、差動増幅器構成の 2 つのトランジスタと、カレントミラー構成の 2 つのトランジスタとを有する請求項 7 に記載の装置。

【請求項 10】

前記検出回路が、前記第 1 トランジスタ回路を制御するための第 2 トランジスタ回路を更に有し、前記第 2 抵抗器回路が、前記第 2 トランジスタ回路の電極を介して前記第 1 トランジスタ回路の第 1 主電極に結合される請求項 5 に記載の装置。

【請求項 11】

前記第 2 トランジスタ回路が、カレントミラー構成の 2 つのトランジスタを有する請求項 10 に記載の装置。

【請求項 12】

前記ブリーダ回路の休止中に前記検出回路の少なくとも一部をバイパスするためのバイパス回路を更に有する請求項 1 に記載の装置。

【請求項 13】

前記バイパス回路が、前記検出回路の第 1 抵抗器回路に対して並列に結合されるダイオード回路を有する請求項 12 に記載の装置。

【請求項 14】

前記ブリーダ電流及び前記饋電電流を供給するための変換器を更に有し、一方の前記変換器と、他方の前記ブリーダ回路及び前記発光ダイオード回路とが、熱的に切り離されている請求項 1 に記載の装置。

【請求項 15】

請求項 1 乃至 14 のいずれか一項に記載の装置における使用のためのブリーダ回路。